



セレンス、日本に音声AIのクラウドサービス拠点を開設 トヨタが最初のユーザーとして契約

January 22, 2021

～新たなホスティング拠点によって、よりスムーズなAI音声エクスペリエンスを提供～

自動車業界向けにAI技術を提供するCerence Inc. (以下、セレンス) は、新たに、セレンスクラウドサービスのホスティング拠点を日本に開設し、トヨタ自動車株式会社 (以下、トヨタ) が最初のホスティングユーザーとして契約したことを発表しました。この新しいホスティング拠点は、音声認識、音声合成、自然言語理解などのAI対応音声技術をクラウドベースで提供します。新たなホスティング拠点の開設により、日本におけるレスポンスタイムが短縮され、セレンスのクラウドベースAI対応音声技術を利用している自動車メーカーやモビリティ企業、そしてエンドユーザーに対して、よりスピーディーでスムーズな音声エクスペリエンスの提供が可能となります。

セレンスは、Nuance Communications Inc. から分社する以前の2014年より、トヨタのコネクティッドサービスのエージェント機能 (音声対話サービス) * にクラウドベースの音声認識技術を提供しています。日本のホスティング拠点を活用することでエージェント機能の音声認識レスポンスが向上します。これにより今後、トヨタのコネクティッドサービスユーザーへ、よりスムーズで進化したドライバーエクスペリエンスを提供することが可能になります。

* エージェントは、目的地の検索や設定、天気予報などの情報検索を音声対話で行うサービスです。トヨタのコネクティッドサービス対応のカーナビゲーションに「近くの駐車場があるレストランを探して」など音声で話しかけると、エージェントがリクエストに応じて情報を検索し、音声で応答するシステムです。

Cerence Japan 株式会社のリージョナルバイス・プレジデント 木村正二郎は次のように述べています。「セレンスは、世界中で高まる車載音声AIアシスタントへの期待やニーズにお応えするために、サービスの向上と機能強化に取り組んでいます。今回の日本市場に対応したホスティング拠点の導入もその一環であり、この新たな取り組みにより、トヨタをはじめとする自動車メーカー各社と、日本のコネクティッドサービスのユーザーの皆さまに最先端のエクスペリエンスをご提供できると確信しております」

セレンスの詳細については、www.cerence.com をご覧ください。当社の最新情報については公式 [LinkedIn](#) および [Twitter](#) からご覧いただけます。

セレンスについて

セレンス (Cerence Inc.) は、自動車業界向けに独自のソリューションを提供し、ユーザーの心を動かすような体験を創出するグローバル・リーダーです。当社は世界の大手自動車メーカーと提携し、自動車がドライバーを認知し、反応し、そして学習する方法の変革を支援しています。その実績は、20年にわたる自動車業界への知見と、約3億2,500万台もの自動車への採用によって裏付けられています。コネクテッドカー、自動運転、電気自動車の将来において、セレンスは明確なビジョンを持っています。詳細については、www.cerence.com をご覧ください。